

「かながわ未来共創プラットフォーム」 募集シート

■募集内容等

募集テーマ	災害福祉の「自分ごと化」に向けた取組
提案募集の概要 (テーマに関連する事業等の概要)	県では、災害時に配慮が必要な方々への福祉支援を継続的に提供できる体制づくりを進めている。その中で、人材育成、福祉避難所設置・運営訓練、災害派遣福祉チーム（DWA T）体制強化等の取組を進めており、民間企業・大学・NPO等様々な主体と協働し連携を強化していきたい。
背景・課題	近年の大規模災害では、逃げ遅れなどの直接的な被害だけでなく、避難生活の長期化に伴う「災害関連死」などが大きな社会問題となっている。医療分野では体制整備が進んでいる一方、福祉分野では人材、連携、運営体制不足などの課題がある。 また、令和7年7月、災害救助法が改正され、救助の種類に「福祉サービスの提供」が加わった。さらに、令和8年6月社会福祉法が改正され、現行の「災害派遣福祉チーム（DWA T）」が法定化された。しかし、依然として災害福祉の必要性や具体的な取組が周知されておらず、要配慮者や支援者の中でも十分に「自分ごと化」されていない現状がある。
課題によって、誰が、どう困っているか（または今後困ることが想定されるか）	・災害時要配慮者：適切な避難支援を受けられない、避難生活で健康状態が悪化する。 等 ・福祉施設：人員不足の中で利用者支援を継続しなければならない、災害対応ノウハウが不足している、災害時情報共有システムの活用が進んでいない。 等 ・市町村：災害福祉に関する体制整備が十分でない、個別避難計画の作成が進まない、防災部門と福祉部門の連携が不足している。 等 ・地域住民・企業：災害福祉について知る機会が少ない、支援に参加したくても関わり方がわからない。 等
課題に対する県の現状の取組	・地域福祉課内に災害福祉グループを新設（47 都道府県初） ・かながわ災害福祉広域支援ネットワークの構築 ・神奈川災害派遣福祉チーム（神奈川DWA T）の運営、平時の訓練実施 ・福祉・防災・医療分野の連携強化
県が希望する提案内容	※以下は一例ですので、上記課題解決に向けて自由な発想でご提案ください。 ・災害福祉の普及啓発 ・民間リソースを活用した避難訓練、避難生活体験の実施 等
提案の例	※以下は一例ですので、上記課題解決に向けて自由な発想でご提案ください。 ・地域コミュニティ活動に防災要素を取り入れる仕組み ・避難訓練や避難生活体験へのリソース提供（シェルター、キッチンカー等）やプログラム考案、運営主体としての実施などで各主体（県、市町村及び協力者）との連携を強化していく。
実施予定時期	提案内容により別途調整します。
県から提供できるメリット	・福祉・医療・防災関係者とのネットワーク構築 ・災害福祉という新たな社会課題領域への参画機会 ・連携事例の県からのPR
その他留意点	

< 提案方法 >

次のページでご案内する申込フォームへ、必要事項を記入の上、送信してください。

https://dshinsei.e-kanagawa.lg.jp/140007-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=33311

<問合せ先>

神奈川県政策局いのち・未来戦略本部室 企業連携グループ 「かながわ未来共創プラットフォーム」担当
Tel：045-285-0710

問合せフォーム

<https://dshinsei.e-kanagawa.lg.jp/140007->

[u/offer/userLoginDispNon.action?tempSeq=13319&accessFrom=](https://dshinsei.e-kanagawa.lg.jp/140007-u/offer/userLoginDispNon.action?tempSeq=13319&accessFrom=)